

平成 31 年 2 月 28 日

お客様各位

日本農業株式会社

農薬登録のご連絡の件

首記の件、下記について登録されましたのでご連絡致します。

記

適用拡大 平成 31 年 2 月 27 日付 (1 件)

・日農トップジンM水和剤

登録第 20976 号

〈適用内容の変更〉

- ①作物名の追加:さといも(葉柄)/黒斑病、200~500 倍、植付前、1 回、20~30 分間種いも浸漬
くり/実炭疽病、1000 倍、収穫 3 日前まで、4 回以内
- ②使用方法の追加:散布[いちご、うどんこ病、1500 倍、収穫開始 21 日前まで、3 回以内]
- ③適用病害虫名の追加:もも/うどんこ病(1000 倍)、しょうが/白星病(1000 倍)
- ④チオファネートメチルを含む農薬の総使用回数の変更:
みかん:8 回以内(塗布は 3 回以内、散布、空中散布及び無人ヘリ散布は合計 5 回以内)
⇒8 回以内(塗布は 3 回以内、散布、空中散布及び無人航空機散布は合計 5 回以内)
小麦:4 回以内(種子への処理は 1 回以内、散布及び無人ヘリ散布は合計 3 回以内、出穂期以降は 2 回以内)
⇒4 回以内(種子への処理は 1 回以内、散布及び無人航空機散布は合計 3 回以内、出穂期以降は 2 回以内)
たまねぎ:7 回以内(種子への処理は 1 回以内、苗根部浸漬は 1 回以内、無人ヘリ散布は 3 回以内、散布は 5 回以内)
⇒7 回以内(種子への処理は 1 回以内、苗根部浸漬は 1 回以内、無人航空機散布は 3 回以内、散布は 5 回以内)

変更後の適用表は次ページ

〈注意事項の変更〉

【変更後】

・いちごに対して使用する場合には下記の注意を守ること。

①萎黄病防除に使用する場合には下記の注意を守ること。

i)萎黄病多発地では本剤の浸漬処理、灌注処理のみでは効果が不十分な場合もあるので、植付前には土壌くん蒸を行い、本剤処理との組合せで防除すると有効である。

ii)灌注する場合は下記の注意を守ること。

a)土壌の種類や条件によって効果に差が認められるので注意する。 b)萎黄病は、土壌温度の高い時(20℃以上)に発生しやすいので、地温の高い仮植時期に処理すること。 c)土壌条件などによっては葉色が劣ったり、多少生育抑制のみられる場合もあるが、その後の生育や収量の影響は認められていない。

iii)苗根部浸漬する場合は、浸漬時間が長く(所定時間以上)なると薬害(活着不良)を生じるおそれがあるので、処理時間を厳守すること。

②うどんこ病防除に使用する場合は下記の注意を守ること。

i)株浸漬する場合は下記の注意を守ること。

a)株冷蔵栽培いちごの定植時に、無病苗を得るため、冷蔵前に処理するものである。うどんこ病の発生まん延時の防除とは異なるので注意すること。 b)浸漬処理薬液が葉裏まで十分付着するように薬液には展着剤を加用し、水洗した苗株を株全体がつかないように浸漬し、苗を薬液中で 2~3 回上下にゆすること。 c)本剤処理した苗株は、水洗せずに半乾きとした後、ビニール袋に入れ、慣行に従って冷蔵すること。 d)冷蔵後、定植前の処理では、効果が劣ることがあるので、必ず冷蔵前に処理すること。

ii)散布する場合は、葉及び果実に汚れを生じるおそれがあるので注意すること。

【変更後】

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	チオファネートメチルを含む農薬の総使用回数
もも	灰星病、黒星病 ホモプス腐敗病	1000～1500倍	200～700ℓ /10a	収穫前日 まで	6回以内	散布	10回以内(塗布は3回以内、 休眠期の散布は1回以内、 生育期の散布は6回以内)
	枝折病、うどんこ病	1000倍					
さといも (葉柄)	黒斑病	200～500倍	—	植付前	1回	20～30分間 種いも浸漬	1回
いちご	うどんこ病	1500倍	100～300ℓ /10a	収穫開始 21日前まで	3回以内	散布	4回以内(種子への処理は1 回以内、は種後は3回以内)
		1000倍	—	株冷蔵栽培の 株冷蔵前		5分間 株浸漬	
	萎黄病	300～500倍	3ℓ/m ²	仮植前		1時間 苗根部浸漬	
				仮植時及び 仮植栽培期		灌注	
しょうが	いもち病 白星病	1000倍	100～300ℓ /10a	収穫7日前 まで	2回以内	散布	2回以内
くり	実炭疽病		200～700ℓ /10a	収穫3日前 まで	4回以内		7回以内(散布は4回以内、 塗布は3回以内)
みかん	そうか病	30倍	8ℓ/10a	4～6月	5回以内	空中散布	8回以内(塗布は3回以内、 散布、空中散布及び無人航 空機散布は合計5回以内)
	灰色かび病 そうか病	1000～1500倍	200～700ℓ /10a	収穫前日 まで			
	貯蔵病害(軸腐病) 貯蔵病害(青かび病) 貯蔵病害(緑かび病)	2000～3000倍					
	雪腐病	2000～2500倍				60～150ℓ /10a	
雪腐大粒菌核病	1000倍	25ℓ/10a					
小麦	赤かび病	250倍	60～150ℓ /10a	収穫14日前 まで	6回以内 (但し定植 後は5回 以内)	5分間 苗根部浸漬	7回以内(種子への処理は1 回以内、苗根部浸漬は1回以 内、無人航空機散布は3回以 内、散布は5回以内)
	うどんこ病	1000～1500倍					
	眼紋病	2000倍					
	小菌核病	1000倍	100～300ℓ /10a	収穫前日 まで			
たまねぎ	小菌核病	1000倍	100～300ℓ /10a	収穫前日 まで	6回以内 (但し定植 後は5回 以内)	5分間 苗根部浸漬	7回以内(種子への処理は1 回以内、苗根部浸漬は1回以 内、無人航空機散布は3回以 内、散布は5回以内)
	灰色腐敗病	500～1000倍	—	定植直前			

以上